

| 科目名 | | 単位数 | 担当教員 | 区分 |
|--|-------|-----|-------|--------------------------------|
| 平成26年度以降 | 思想史 I | 2 | 加地 直紀 | |
| 平成25年度以前 | 思想史 I | 2 | | |
| 教職 | | | | 教職 |
| 授業の到達目標及びテーマ 古代から現代に至る日本思想の解説を通して、日本の国体及び日本人の国民性を理解する。 | | | | 言語 共通 |
| 授業の概要 思想を産むのは人と時代であり、したがって思想を理解する為には、それを産んだ人物のみならず、その時代背景について知ることが必要である。戦争反対を唱える場合でも、その意義は平時と戦時とは大きく異なる。本講義ではかかる点を前提として、日本思想を時代背景を勘案しながら、人物を中心に解説する。 | | | | 専門基礎 |
| 授業計画 第 1回:日本の国体と日本人の国民性 第 2回:イデオロギーに対する日本人の反応 第 3回:日本における代表的な歴史観—皇国史観、唯物史観、東京裁判史観 第 4回:実証史観から見た自由民権思想—自由民権運動の本質と馬場辰猪 第 5回:日本の保守思想—神道 第 6回:日本の保守思想—武士道 第 7回:日本の革新思想—明治社会主義 第 8回:日本の革新思想—マルクス主義 第 9回:戦後日本の時代背景 第10回:日本の保守主義者—小泉信三 第11回:日本の保守主義者—石原慎太郎 第12回:日本の革新勢力—過激派(新左翼) 第13回:日本の革新主義者—大内兵衛 第14回:日本の革新主義者—宮本顕治 第15回:日本の革新主義者—大江健三郎 定期試験 [履修上の注意] 履修者は真摯な態度で履修すること(私語・飲食・途中退席厳禁) 本学ホームページにある教員webページの加地直紀欄を開き、思想史 I の講義ノートをプリントアウトし、毎回持参すること。 | | | | 法律一般 政治行政 経営法務 スポーツ福祉 |
| テキスト なし | | | | 25年度以前 共通科目 |
| 参考書・参考資料等 中村勝範『現代文化人論 第1巻』(慶應義塾大学出版会) | | | | |
| 学生に対する評価 定期試験 | | | | |